

2002年(平成14年)7月11日

「あつてはならぬ行為」

女子医大院長が謝罪

委 院 参
招 参 考 人

東京女子医科大学病院の手術ミスによる女児死亡事件で、医師2人が逮捕された事態を受け、参院厚生労働委員会は11日、同病院の林直諒院長を参考人として招き、事件経緯などについて説明を求めた。同時に、4月に川崎協同病院で起きた「安楽死」事件についても、病院幹部が参考人と

して出席した。林院長は「本件事故は安全管理体制の欠陥、不備に起因し、しかも家族に対し、事実を明らかにせず、カルテなどを改ざんして事実を隠蔽した。医療に携わる者として絶対にあつてはならない行為をした」と語った。桜井充氏(民主)から「組織的な隠蔽について

の報告がない」と追及され、林院長は「内部調査では限界がある」と答えた。さらに、事故を知らされた主任教授がなぜ安全管理委員会に報告しなかったのかと問われ、「現在調査中で、病院としても、そうした土壌をつくっていった管理責任をはつきりさせたい」と述べた。

女子医大小児心臓手術事故

院長謝罪

2002年7月11日 朝日新聞夕刊